



地方における社会資本整備の着実な推進に必要な  
公共事業予算の確保に関する緊急要望

平成28年 8月12日

高知県町村会

## 地方における社会資本整備の着実な推進に必要な 公共事業予算の確保に関する緊急要望

高知県は、温暖な気候と恵まれた自然環境を有する一方、地形が急峻かつ地質も脆弱であり、河川・道路をはじめとする社会資本の整備が全国に比較して遅れており、大規模な自然災害が発生するたびに洪水・交通途絶などによって地域生活・産業・経済に甚大なる被害が発生している。

さらに本年4月に発生した「平成28年熊本地震」における甚大な被害状況に鑑みると、南海トラフ巨大地震の発生が切迫している四国においては、ひとたび巨大地震が発生すれば極めて甚大なる被害が予測され、目前に迫る脅威に対し早急な地震対策や津波対策が不可欠である。

このような背景のなか、28兆円を超える予算規模を持つ「未来への投資を実現する経済対策」が閣議決定されたことは、本県にとって遅れている社会資本整備の加速化が大いに期待されるところである。

この予算編成については、「公共事業を上積みしても消化できない」など、公共事業の推進を否定するかのよう  
な意見が一部の報道に散見されるが、地方の実態を無視した  
ものと言わざるをえない。

については、このような状況を踏まえ、このたびの経済  
対策が地方の望む社会資本の整備事業として計画的かつ  
着実に取り組まれるよう、下記の事項について特段の配  
慮を強く要望する。

## 記

- 1 安全・安心で住みやすい地域社会の実現に向け、不  
足する社会資本整備を積極的に推進するため、必要な  
予算の全額確保と重点的配分を行うこと。
- 2 特に近年頻発する大規模自然災害に備え、防災・減  
災のためのインフラ整備を一段と加速すること。

高 知 県 町 村 会  
会 長 岩 崎 憲 郎